

宇治交配 **京のれん** (MGX-809)

収量性に優れた、秋冬栽培好適品種！

特 性

- ① 草姿は立性で生育速度が速く、早生性に優れたF1水菜です。
- ② 葉色は濃緑で、葉幅は中位、欠刻は深く入ります。葉軸は白く、がっちりしており、収穫調整が容易です。
- ③ 株張りがよく、一株重が重く多収性の品種です。
- ④ 周年栽培可能な品種ですが、特に秋冬栽培に好適です。
- ⑤ 葉軸の繊維質は少なく、シャキシャキ感のある歯ごたえは格別で、サラダにして最適です。また従来の浅漬や煮炊きにしても美味しいです。



栽培のポイント！

① 圃場の準備

肥料は元肥を中心に、三要素各10kg/10aを基準とし、夏期は各6～8kg/10a、冬季は各12～13kg/10aを目安とします（二作目以降は生育に応じて加減します）。立枯病など土壌病害予防のため、定期的に土壌消毒を行うことが望ましいです。

② 播種・育苗

うね幅120～150cmで条間8～10cmを基準とします。播種はシートテープを用いて直播きします。株間は7cm間隔で1粒まきし、間引きしません。播種後十分に灌水し、寒冷紗で被覆して一斉に発芽させます。

③ 収穫までの管理

早春のハウス栽培では抽苔しやすくなります。特に生育初期の低温は、花芽分化を促進させますので注意が必要です。春・秋の暖かい日はハウス内の換気を充分に行い軟弱徒長を防ぎます。

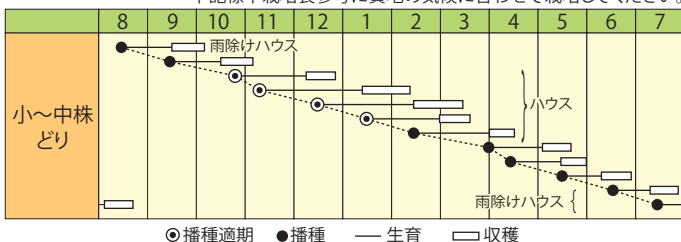
④ 収穫・出荷

草丈28cm位になれば順次収穫します。収穫後は急速に品質が低下しますので、速やかに子葉・枯葉・根部を除去し、調整・袋詰めを行います。この時できるだけ水洗いはしないようにします。

⑤ 病虫害防除

水菜は茎葉部を食しますので、病虫害防除は生育初期の予防的散布を基本とします。小～中株獲りの害虫防除には被覆資材を用いて薬散回数を少なくします。

下記標準栽培表参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。



主な病害虫

- ベト病、白斑病、白さび病、軟腐病、立枯病
- コナガ、カブラハバチ、キスジノミハムシ、ヨトウムシ、アブラムシ